

福岡県立大学同窓会会報

発行日 平成14(2002)年7月15日
 発行者 福岡県立大学同窓会 事務局
 住 所 福岡県田川市伊田4395
 福岡県立大学 同窓会事務局
 TEL・FAX 0947-42-2777

同窓会としての誇りと 同窓会活動の充実を！

同窓会会長 月脚雅子



同窓会会員の皆様 如何お過ごしでしょうか。それぞれの職場でご活躍の事と存じます。この度12年もの長きに渡り同窓会長を務めていただきました養成6期の矢津田克子様の後任として就任いたしました養成4期の月脚雅子です。

前会長は社保短から県大になるときの変換期に現在の同窓会の基礎をつくって下さいました。これからはそれを基本にして役員一同、大学側、事務局と共に大学の発展の為に頑張っていくつもりですので会員の皆様のご協力を宜しくお願い致します。

この春、社会福祉の分野で大きく貢献された保田井進前学長が亡くなりました。先生は病身でありながら亡くなる直前まで学長としての任務に力を尽くされ、その姿に皆一様に感銘を受けました。先生は常にキリスト教の博愛の精神で仕事をされていたように思います。先生のお心に学び皆様と共にご冥福を祈りたいと思います。

同窓会も県大7回生、大学院4回生を迎え4611名となりました。また、15年度より新しく看護学部が増設されます。県立看護専門学校は閉校されて県大に統合されますので看護専門学校の同窓会も県大の同窓会に統合して欲しい旨、要望が出ておりました。

このことについて13年度総会で承認を受けましたが、どのような方法が一番ベストかが15年度総会までの課題です。因みに県立看護専門学校同窓会員は2880余人です。会員の皆様方でご意見やご要望がありましたら同窓会事務局までFAXをいただければ幸

いです。

さて、私達は21世紀に人類の平和と世界協調、融和を目標に掲げてスタートしたつもりでしたが、ニューヨークの多発テロに始まり地球上の各国を巻き込んだ戦争ははじまり、国内においても政治問題、親が自分の子供を殺したり、虐待したり、保険金目当ての殺人等々毎日のニュースは眉をひそめることばかりで、未来が不透明な感じがしてなりません。だからこそ私達はこの大学で学んだことを基にして自分の周りから人々をやさしく導いていけたらいいなあと思います。県立大学は「人間と社会の調和」、「人間愛と尊重」、「地域福祉」、等で人材育成をめざした大学です。この大学を卒業した事を誇りとし自分自身の教養、視野を広げ社会に貢献して欲しいと願っています。

同窓会といたしましては事務局を充実して就職情報、会員の方々の情報や大学の情報等をご活用していただけるように努力していきたいと思っております。その内にホームページも出来るのではないかと思います。同窓会は会員の皆様の年会費で支えられております。事務局を充実させ、活発な同窓会活動を行う為にも、会費納入を宜しくお願い致します。

平成15年春の福岡県立大学

福岡県立大学長 橋口 捷久



桜花爛漫の春、平成15年4月8日。新キャンパスの大講堂から入学式を終えたばかりの250余名の新入生の笑顔がどっと出て参りました。新しい福岡県立大学の新学期の始まりです。

平成14年4月30日付で、福岡県は、文部科学省に福岡県立大学看護学部設置認可申請書を提出しました。それを受けて、文部科学省は5月16日に

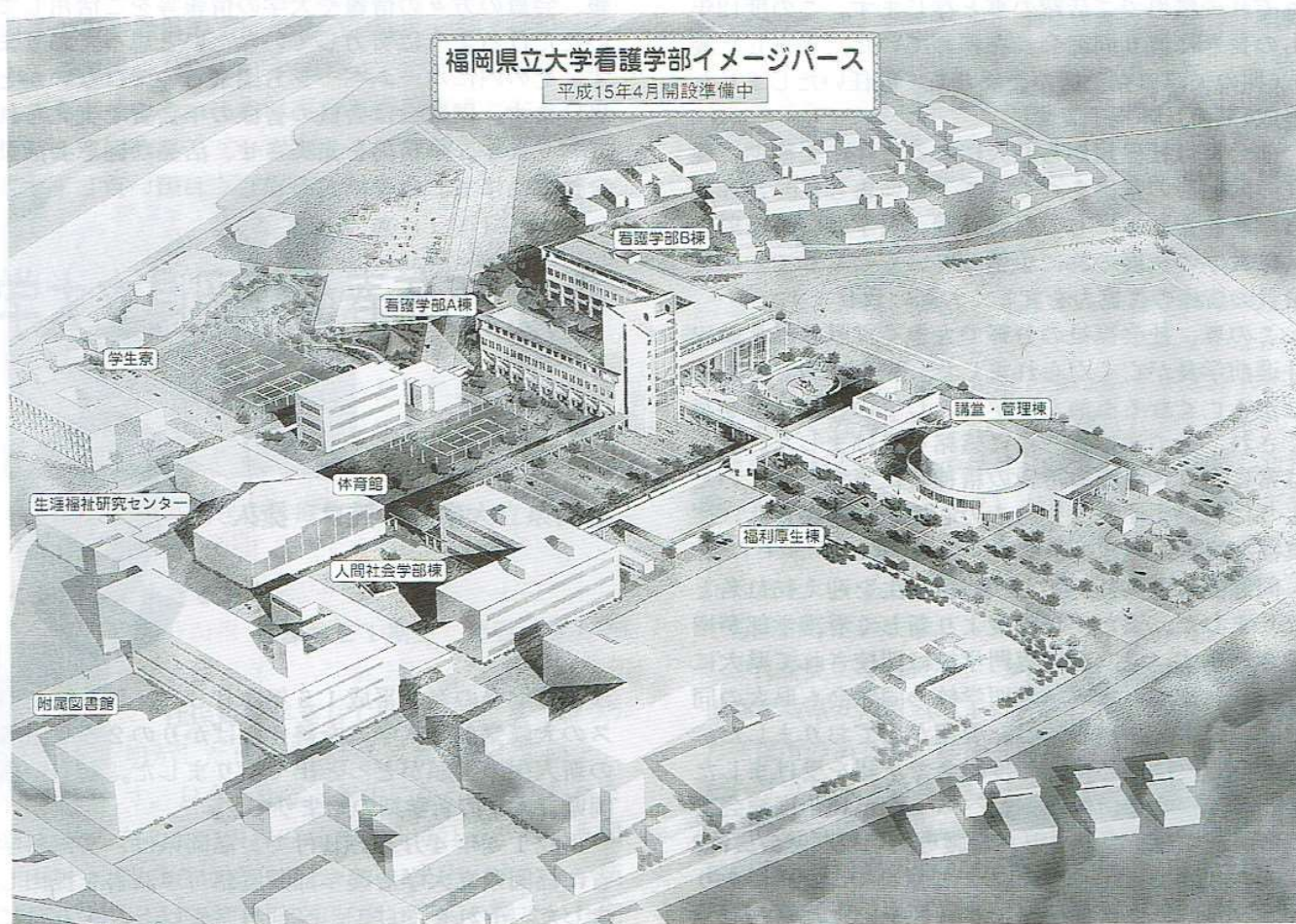
平成15年度に予定される公私立大学の開設と学部・学科の増設を大学設置・学校法人審議会に諮問しました。5月17日付西日本新聞朝刊は、「福岡県立大は学部増」という見出しに続いて、……大学の学部増設は福岡県立大学（同県田川市）の看護学部など公立3校、私立27校。同県は「少子高齢化や医療の高度化に対応するため」としている。……、という記事を掲載しています。今後諸般の手続きを経て、本年12月には許可される見通しです。

いよいよ福岡県立大学は人間社会学部の文系単科大学に理系の看護学部を加えて、総合大学への道を歩み始めました。看護学部は看護学科1学科で大講座制を採用し、実験看護学、基礎看護学、成人・老年看護学、女性・小児看護学、地域・国際看護学、臨床機能看護学の6講座からなります。看護学部の入学定員80名、3年次編入学定員20名で、収容定員は360名です。これに既存の人間社会学部の収容定員600名、大学院人間社会学研究科の収容定員24名を合わせると、約1,000名となります。

写真は完成予想図で、手前は伊田小学校そして新しく整備された県道、左上が彦山川で上が下流です。現在のキャンパスは、南北が附属図書館から看護学

部A棟の左端まで、東西が伊田小学校との境界線から体育館裏のプールまでで広さは約31,000㎡です。新たに田川市が購入し福岡県立大学用地として県に20年間無償貸与した部分が、現在のキャンパスの北側、完成予想図では、おおよそ看護学部A棟と手前の伊田小学校運動場の右端を東西に結んだ線より北側と、体育館プールの西側、図では左上の学生寮とテニスコートの部分の約65,000㎡です。したがって、新キャンパスの広さは現在の約3倍の96,000㎡となります。

新しい正門は、新キャンパスの東側に開かれ、旧正門は通用門として残されます。新しい建物は、500名収容の講堂・管理棟、看護学部A棟、看護学部B棟、福利厚生棟、学生寮、さらに地域のランドマークともなるキャンパスタワーが建てられます。また、講堂・管理棟、看護学部棟、体育館、人間社会学部棟、福利厚生棟は広い中庭を中心にして回廊で結ばれ、両学部の交流が円滑になるように設計されています。



第19回同窓会総会報告

平成13年8月19日、福岡県立大学第19回同窓会総会が北九州市北九州八幡ロイヤルホテルにて開催されました。当日の出席者は会員・準会員・来賓（教職員）を含め87名にのびりました。

総会では、来賓として、保田井県立大学学長、安藤前学長をお迎えし、1999年度・2000年度事業報告・決算報告・監査報告の承認、2001年度・2002年度事業計画及び予算案が審議の上、承認されました。

役員の変更として、6期12年間の長きに渡り会長として同窓会を支えていただいた矢津田克子氏が会長を退くこととなり、後任につきましては、月脚雅子氏（養成所4回生）が推薦され、承認を受けました。矢津田氏には短大から4年制大学移行に伴う取り組みに始まり、県立大学同窓会との一本化への実現、県立大学同窓会としての基盤作りに、大変ご尽力いただきました。

また、県立大学看護学部設置と同時に閉学となる福岡県立看護専門学校同窓会（会員数約2880名）から、県立大学との交流を願う申し出があり、前日に行われた県立看護専門学校同窓会総会では、県立大学同窓会と一緒に活動をしていきたいとの意向が決議されたとの報告がありました。その意向を受け、県立看護専門学校同窓会の県立大学同窓会への参加を今後検討していくことを総会で決議いたしました。

総会終了後は同会場で、「身体活動を通じたストレスの解消法について」との演題で、山口大学医学部上田真寿美先生に講演いただきました。1999年度に40歳～60歳の同窓会会員対象にアンケート調査を行われ、その研究成果を踏まえてのご講演をいただきました。

また、懇親会会場では、会食と歓談の一時を過ごしました。懇親会には、県大：保田井学長、森山先生、平野先生、細井先生、上田先生に加え、安藤前学長、社保短時代懐かしの桧垣先生、小関先生もおいで下さいました。



今回同窓会開催は養成所3・4期、社保短16・17期県大4・5期の方々に当番期として当日の受付・総会・懇親会の司会等を分担いただき、万事滞りなく進行了しました。



同窓会名簿発送終了

同窓会名簿は2002年2月に発行・発送を行いました。当初の予定より1年遅れましたことを心よりお詫び申し上げます。遅れました間、名簿代金をお振込みいただきました会員の皆様には、大変ご迷惑をおかけしました。発送の遅れ等今回の同窓会名簿作成には反省することがたくさんあり、発送後、名簿発送者にアンケートを実施しました。592名の方にアンケートを送付し、152名の方より回答をお寄せいただきました。(アンケート回収率26%)ここにアンケート結果を報告させていただきます。

名簿アンケート回収率

アンケート発送数	592名
アンケート回答数	152名
アンケート回収率	26%

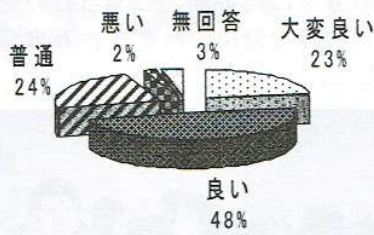
回答内訳

※以下表内の数字は人数

卒業校	会員	教職員
養成所	42	0
短大	73	5
県大	17	12
大学院	3	0
合計	135	17

問1 同窓会名簿総合評価

	会員	教職員	合計
大変良い	30	5	35
良い	68	5	73
普通	32	4	36
悪い	2	1	3
無回答	3	2	5
合計	135	17	152

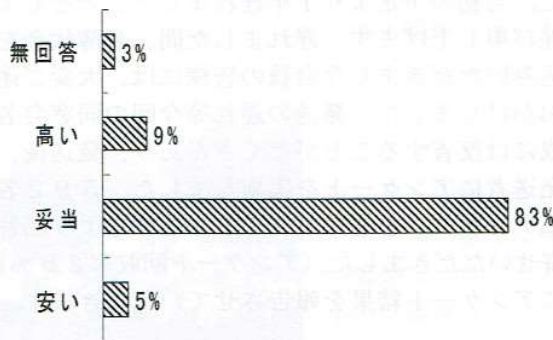
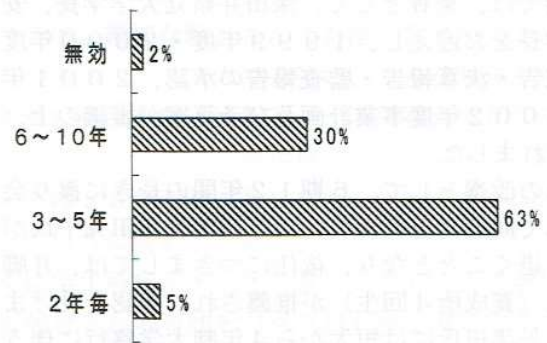


問4名簿発行期間

	会員	教職員	合計
2年毎	4	3	7
3～5年	84	12	96
6～10年	45	1	46
無効	2	1	3
合計	135	17	152

問2名簿価格

	会員	教職員	合計
安い	7	1	8
妥当	113	13	126
高い	13	1	14
無回答	2	2	4
合計	135	17	152

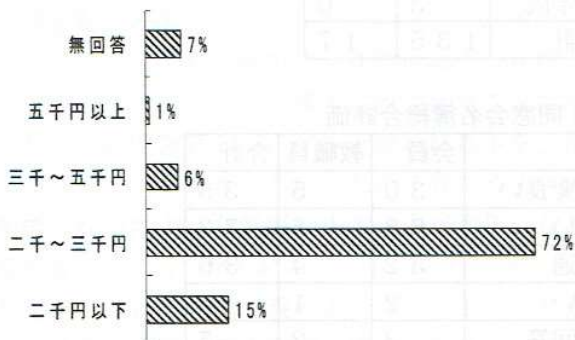
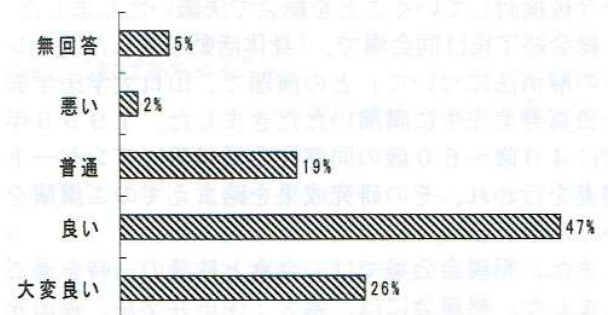


問5カラー表紙について

	会員	教職員	合計
大変良い	38	2	40
良い	67	5	72
ふつう	24	5	29
悪い	2	1	3
無回答	4	4	8
合計	135	17	152

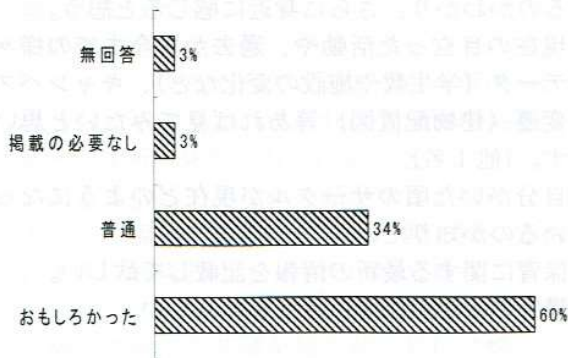
問3名簿の適正価格

	会員	教職員	合計
2000円以下	19	4	23
2000円～3000円	100	9	109
3000円～5000円	8	1	9
5000円以上	1	0	1
無回答	7	3	10
合計	135	17	152



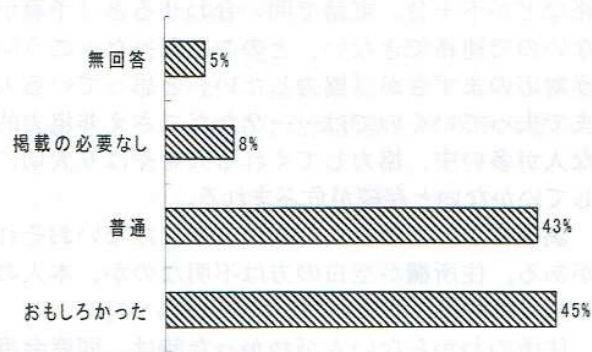
問6教職員寄稿・同窓会会員投稿について

	会員	教職員	合計
おもしろかった	82	9	91
ふつう	46	5	51
掲載の必要なし	4	1	5
無効	1	0	1
無回答	2	2	4
合計	135	17	152



問7 付録同窓会総会へのメッセージについて

	会員	教職員	合計
おもしろかった	62	6	68
ふつう	57	8	65
掲載の必要なし	11	1	12
無効	1	0	1
無回答	4	2	6
合計	135	17	152



自由記述 (抜粋)

○評価良い点

- ・ 表紙の絵が美しく、感動しました。題字(保田井先生)をみるたびに、保田井先生を思い出すことができ、胸がいっぱいになります。いろいろな名簿がありますが、“心のこもった宝物のような名簿”が県大の名簿です。(他3名)
- ・ 表紙がカラフルで美しい。(他2名)
- ・ 写真(校舎)が掲載されたことで学校の変遷がよく分かると同時に、当時の学生生活がより鮮やかに蘇ってきて、懐かしさもひとしおでした。
- ・ 文字の大きさ、配列も見やすくてよい。表紙、裏表紙も地域性があり、なつかしい。(他6名)
- ・ よく整理・調査され、きめ細かな編集だった。調べやすかった。(他12名)

- ・ 同期生の方々の住所が確認出来、交友を深めるのに便利だった。先輩、後輩の様子が見える。
- ・ 勤務先の役職を入れてないこと。みな平等。
- ・ 寄稿の字が大きくて読みやすかった。(他1名)
- ・ 行の間隔があいていてみやすい。女性特有の旧姓と現在の姓と両方から索引がひけるのはすばらしい。(他3名)
- ・ 沿革、名簿、先生方の寄稿、会員投稿、同窓会のメッセージと順になって大変読みやすく、大学の様子、同窓会の皆様の動静など身近に知ることが出来て温かいものを感じました。(他1名)
- ・ 教職員寄稿など、見応えがあった。(他8名)
- ・ 県大の歴史を感じました。県大を懐かしく思い出しました。
- ・ 長い歴史の中で、初のもたまった名簿が出された。大変な努力があったことと思います。順次に更新するのであれば、次回からは比較的スムーズになると思われる。グラビア、写真入りもよい。寄稿、付録も本誌の特徴としてよい。(他4名)

○評価悪い点

- ・ 表紙がもう少し厚みのあるしっかりした表紙だとなお良かった。(他2名)
- ・ 空欄が目立つ、現職場の連絡先の掲載があまりに少なかった。(他2名)
- ・ 名簿に線がなくなったのは少々見にくい。
- ・ 字が小さい。(他3名)
- ・ 横書きの方が見やすい(1993年発行分)。物故者は段下でなく、出席番号の中に死亡年がある方がみやすい。
- ・ ページの途中で、社会福祉科の名簿が始まるので、見落としてしまいそうでした。
- ・ 人名索引は旧姓の方が探しやすい。
- ・ 人名索引の部分は現旧姓両方は必要ない。(旧姓)を入れて、現在の名前だけでよい。
- ・ 一部、印刷の悪いページがあり残念だった。当ページに該当する方は心残りだったのでとは感じた。(他2名)
- ・ 名簿部分が、すべてゴシック体であること(つぶれて読みにくい部分がある)。教職員、会員寄稿部分はフォントのポイントを下げ、行間をもっとあけた方が読みやすい。
- ・ 名簿以外の分が多すぎる。
- ・ 再度新しく発行の折りは、メッセージを掲載の由、全員によくいきわたったらもっと面白くなったのではと残念です。
- ・ ペンネームのみという事で投稿したのに、最後に名前が載っていたので嫌だった。
- ・ 予定より大幅に遅れた点。遅くなるときは、は

がきなどで連絡してほしい。誤送かと心配した。

- ・ 住所の葉書を出した後、再度住所が変更になりFAXで、送ったところ、事務局のかたよりTELがあり、「まだ間に合う」と言われたのに出来上がったものには変更前の住所が載っていた。

○希望する企画

- ・ それぞれの年代の卒業写真の中から1枚ずつ抜き取っての写真集のようなページが欲しい。
- ・ 県大、大学院の名簿と、養成所、短大の名簿を分けてもいいのではないかと思った。
- ・ 名簿と寄稿、会員投稿は別冊にした方がよい。
- ・ 会員の方の多大なご理解が必要だと思うが、現職場の連絡先を充実させてほしい。(他1名)
- ・ 居住地別の名簿の方が利用価値が高い。E-mailも入れてくれるともっと良い。
- ・ CD-ROM化して欲しいです。ホームページを作って、検索できるようにしておくとか……。名簿は名簿としての機能を果たすことが一番ですから、データの更新が命だと思います。
- ・ 次回の名簿には、白黒でも良いので、県大の写真(校舎内の写真など)をもっと盛り込んでほしいです。(他2名)
- ・ 同窓会総会案内へのメッセージを減らして広告をもう少し、あまり厚くならない程度に増やすと良い。(他1名)
- ・ 「プレイバック」的な企画をお願いします。昭和40、50、60年代当時を振り返るとか。大学祭特集とか(年代順に写真)(他3名)
- ・ 卒業生の各回の同窓会風景(同期会)や、その実施した方よりの同窓会内容
- ・ ゼミでの同窓会写真掲載。
- ・ 卒業生に関しては、どこの研究室(ゼミ)に所属していたかも掲載して欲しい。
- ・ 卒業生同士の交流が出来る企画、ミニ通信欄、伝言欄等。
- ・ 社保短時代、「ホーム」という班別指導のようなものがあり、サークル以外にも親しくできるグループが存在していました。担当の教授もおられて、楽しかったのです、その特集をしてほしいです。
- ・ 関わっていただいた先生のその後というのはとても気になるので、是非続けていただきたい。(他3名)
- ・ 同窓会会員の投稿については「紙上同窓会」になっていてよかった。しかし、自分の「期」でないのがちょっと残念でした。でも全部の「期」を掲載するわけにもいかず…。次回呼びかけて載せてもらえるようにがんばりたいです。
- ・ 各先生方の研究内容などが載っていると、遠く

にいても県立大で、どのようなことが研究されているのかわかり、さらに身近に感じると思う。

- ・ 現在の目立った活動や、過去から今までの様々なデータ(学生数や施設の変化など)、キャンパスの変遷(建物配置図)等あれば見てみたいと思います。(他1名)
- ・ 自分がいた頃のサークルが現在どのようになっているのか知りたい。
- ・ 保育に関する最新の情報を記載して欲しい。
- ・ 講師の先生の住所、近況を知りたい。

○意見・感想

- ・ 卒業後ずっと実家にいる人は、住所が変わっていないので、わかるはずなのに空欄になっているのもあり、本人が掲載を拒否した場合はともかく、なるべく空欄は作らないほうがいい気がした。空欄にするくらいなら実家に電話して聞くなり、実家の連絡先をのせるなりした方がマシだと思う。事務局が把握していなくても個人のつきあいは続いている所も多いので、人づてに聞いていけば、もっと早く正確な情報は得られたような気がする。発送がかなり遅れ、そのことについての説明、連絡などが不十分。電話で問い合わせると「予算がないので連絡できない」とのことだった。こういう対応のまずさが「協力したい」と思っている人まで失っていくのでは……。ただでさえ非協力的な人が多い中、協力してくれる人をやはり大切にしていかないと存続が危ぶまれる。
- ・ 調査をもっと細かくしないと役立つおそれがある。住所欄が空白の方は不明なのか、本人の希望で掲載されていないのかわかればいい。
- ・ 住所のわからない人がわかった時は、同窓会事務局へ知らせれば次回の連絡がうまくいく。
- ・ 2~3年に1回は簡単で薄く軽いもの、価格も安く、10年に1回位は、内容を濃くし、価格も高くても良い。
- ・ 時間と手数のかかる割に価格は安いようです。5年に1回の発行で良いのではと思います。
- ・ 同期の同窓生へのメッセージは必要ないかと思えます。(他2名)
- ・ 随所(凡例など)にきめ細かな配慮がされており、この名簿作成に携わった方々の前向きな姿勢が感じられ、大変ご苦労だったろうと拝察いたします。それにつけても作成委員の方々のお名前紹介があっても良かったのでは……。と少し残念です。(他3名)
- ・ 内海先生、檜垣先生、植田先生となつかしい先生方の文章を読ませていただき幸せでした。職場紹介もなかなかおもしろかった。アンケート用紙

をいただき、またあらためて同窓会名簿を読み、楽しみました。

- ・ 近所に卒業生が思ったより多くいたので、びっくりした。筑後地区ごとのような小単位地区での会（おしゃべり会）があれば、参加出来るのになあと、住所を見ながら思いました。
- ・ 人名索引のアイウエオ順がすごく役に立っていますが、編集の皆様のご努力の賜と深く感謝しています。お疲れさまでした。有り難うございました。
- ・ 待ちに待った名簿を見た時、私には懐かしさでいっぱいでした。郷土を田川に持つ私には、1ページ1ページがめくる喜び、川渡り神幸祭も最高の出来映え、見物者との息づかいの様子がよく撮れていると思いました。炭坑節に歌われた煙突、今は石炭資料館にあります。この大学がこのような場所に位置されている事も表現して頂いて有り難く思っております。「田川は決して陸の孤島」ではありません。もっともっと発展する市です。在校生の皆様、同窓生の皆様、田川の水になじみ、愛して下さい。周囲の方々との接点を持って、その方々からも大学を愛されるように努めてください。よろしくお祈りします。
- ・ 同窓会活動の前提として、名簿の発行は大変重要です。情報提供、活動連絡周知に名簿の整備は欠かせません。地味な点検活動を常時積み重ねて、定期的名簿刊行をしてください。会員各自も同窓生としての自覚を高め、みんなで協力し合えるようにしたいものです。

○アンケート集計を終えて

アンケートご協力ありがとうございました。

良い評価、悪い評価、望む企画等、ご示唆・ご助言たくさんありがとうございました。全ての方のご意見を掲載したく思いましたが、紙面の都合上重なるご意見につきましては、割愛させていただきました。

たくさんのご意見を次回同窓会名簿作成・編集の糧にさせていただきます。

また、編集・印刷の不備から、紙面の汚れがあったり、連絡した住所が載っていなかったり、望んでいらっしやらなかった名前が載ったりと数々不快な思いをなされた会員の方々に紙面を借りて心よりお詫び申し上げます。

今後も住所変更等、事務局までご一報下さいますようお願いいたします。

尚、同窓会名簿残り60部となりました。ご希望の方は、事務局あて、FAXでお申し込み下さい。(先着順で発送させていただきます)

会員並びに教職員追悼

このコーナーでは同窓会事務局に1年間の間にお知らせいただきました会員の訃報と追悼文を掲載いたします。

<原田文枝先生を偲んで>

養成所7期生 佐東 恵子

養成所を卒業して四十二年余り風化してゆく記憶の中で原田文枝先生から頂いた多くの宝物は、七回生の心の中に今も息吹いております。昭和三十三年四月～三十四年八月までのわずか一年五ヶ月間の出逢いでしたが、その間充分でない設備費の中でピアノの台数を増して下さったり、運動場の整備、寮生達への気配りまで所長として全職員の先生方と共に一丸となって私共を育てて下さいました。寮生は特に「学校」と言うより「大家族」的な温かさの中で、伸々と過ごしたように思います。「要望があれば何でも言ってくださいね。」のお言葉に甘えて皇太子、美智子妃殿下ご成婚を見たさに、恐る恐る寮にテレビが欲しいと申しましたところすぐ学生二～三人を連れて買いに行っていましたのには驚き、本当に嬉しく思いました。また短大昇格には特に熱心で何度も何度も県庁まで足を運ばれ、折ある毎に私共にもその重要性を話され、早く実現される様願っていました。さらに「保育者は一貫した保育をしなくてはならない。」先生の保育理論の講義の中で何度となくくり返されたこのお言葉だけが心に残り、卒業後の道標になっております。自主自立の精神と相手を思いやる心、常に先を見て今何をすべきかを自らの行動で教えて下さった先生、後年芙蓉保育園をこよなく愛し、一貫して保育事業に従事され、現役のままこの世を去られた原田文枝先生を万歳三唱で送ってあげたいと思います。有り難うございました。安らかに眠り下さい。



※平成8年 原田文枝先生と養成所7期生

<近藤 草次先生を偲んで>

社保短9期生 宮田 晴美

近藤草次元学長の訃報に接し、心より哀悼の意を表します。先生との思い出として印象深く残っていますのは、新入生の緊張もまだ残るある4月の日、「学長がお呼びです。」と、平野信子さんと私にお声があったことです。私たちのような名も知れぬ新入生に、何か失敗でもしたのかと心配と疑問と不安の中、極度に緊張して学長室の扉を開くと、先生は、私たちの緊張をほぐすのに十分な笑顔とともに、「僕は全ての学生を平等に、よい環境のもと学んで欲しいと思っています。しかし、君たちは僕の後輩だ。」と、旧制『門司中学』のご出身であると懐かしそうに明かして下さいました。そして、「先輩とって訪ねてきたら、一緒に鰻でも食べよう。」との言葉は、今でも短大の良き記憶です。そして、学長懇談会なるものを発足したときも「学生の生の声」に直接耳を傾けて下さる学長でした。心よりご冥福をお祈りいたします。

<磯辺 実先生を偲んで>

社保短1期生 今永 洋

私は、昭和四十二年社保短1回生として入学し、磯辺ホームの一人として先生のご指導を受けました。当時先生は、今の私と同じ位の年齢ではなかったかと思えます。黒のベレー帽、ベッコウのフレームの眼鏡そしてマドロスパイプを愛用され、大変ダンディーな方でした。車は確か、フランスのシトロエンに似た紺色のベレットを颯爽とのりこなしていました。よくホーム単位で、別府とか小倉に遊びに連れていってもらった記憶があります。先生は、酒は余り飲まれましたが、みんなが楽しそうにしているのを、そばで微笑みながら眺めているという雰囲気でした。肝心の学業のことについては、不肖の学生であった私は記憶にないのですが、当時は学生運動等さかんな時代で、極端な思惑を持った者の多い中、先生は、中道的な考えの持ち主だったような気がします。

私個人として、就職、結婚という人生の節目、節目で先生に大変お世話になりました。先生は亡くなりましたが、先生の義理の息子さんである第一福祉大の俵先生とお付き合いをさせてもらっておりますので、俵先生とお付き合いすると磯辺先生のイメージが重なり、私の心の中に磯辺先生は生きている気持ちにさせられます。

磯辺先生のご冥福をお祈りします。

<磯辺 実先生を偲んで>

社保短1期生 太田 幹子

1967年5月、古い木造校舎での社会保育短期大学第一期生の入学式。

磯辺ホームとなった私は、不安と希望の入り混じった複雑な気持ちでいたと思います。

磯辺先生は、その古い校舎には不似合いにおしゃれで、ダンディーで、静かな口調で話しをされる先生でした。田舎者の私には、そんな先生は遠い存在に感じたものです。

ある日、先生はホームの学生を先生のご自宅に招待して下さいました。ご自宅に隣接した幼稚園で、園児用の小さな椅子に座り、ご馳走をいただき、ゲームに興じ楽しい一日を過ごしました。このときの先生の優しいお心遣いに、以後先生に親しみを感じるようになったものです。

磯辺ホームには個性的な人が多く、先生はとまどっていらっしゃったのかもしれませんが、私達学生はそれぞれ楽しい学生生活を送ったと思います。私はいえ不真面目な学生でしたから、先生にご心配をおかけしていたことと思います。

卒業後、先生にお礼を申し上げる機会もないままでした。本当に、本当に遅くなりましたが、この場をお借りして、お礼申し上げますとともに心からご冥福をお祈り申し上げます。

<保田井 進先生を偲んで>

県立大1期生 的場 砂織

保田井先生のご冥福を心からお祈り申し上げます。

初めて先生にお会いして十余年の年月が経ちました。現在の「私」に何より強い影響を与えて下さった方でした。

私は福祉の道を志し県立大学の一期生となり、希望して保田井先生のゼミ受講生になりました。先生にはいつも温かく、そして的確なご指導をいただき、気の置けない仲間たちと思うままに語り合える素晴らしいゼミでした。

先生から学んだこと。それは自分が持つ心の二面性を否定しないことでした。そして誰もがその心の二面性に悩んだり苦しんだりしているということも。また、「人に優しい気持ちになれるのは、自分が人からたくさんのお優しさを与えられてきたからですよ。持っていないものを人にあげることは出来ないでしょう。」という言葉も忘れられません。

先生は福祉を愛され、県立大学のために全力を尽くして下さいました。先生と親しい方をはじめ多く

の方が、病と闘い変わっていく様子を隠すことなく最期まで福祉の精神を語られる先生の姿に胸を打たれたことと思います。それはおそらく先生の「いのち(生命)」を実感されたからではないでしょうか。私も今まで特に意識することのなかった自分の「いのち(生命)」の重さについて考えさせられました。先生の死はあまりに早すぎるものでしたが、その福祉の精神を貫く意志の強さは私たちの心に深く刻まれるものでした。私はまだまだ未熟な人間ですが、行政にたずさわる者として、先生から学んだことを少しでも多くの人に伝えられるよう、出会いを大切に頑張っていこうと思います。

本当に先生には深く深く感謝してやみません。

同窓会会員訃報

佐伯真弓(竹田)さん 社会保育短期大学9期生

佐伯真弓さんは、昭和50年社会保育短期大学に入学され、在学中は、レクレーション研究会、美術部、コーラス部などでご活躍され、そのおらかな人柄から多くの後輩・同輩・先輩の方々から慕われたと伺っております。平成13年夏同窓会総会のおり、その訃報を同窓会事務局に先輩の方よりお知らせ頂きました。ご冥福をお祈りいたします。

松本和子さん 福岡県立保母養成所3期生

松本和子さんは昭和29年福岡県立保母養成所入学昭和31年卒業、卒業後同窓会の会長をお勤めいただき、同窓会活動には並々ならぬご指示をいただきました。昨年度同窓会事務局に訃報が届きました。ご冥福をお祈りいたします。

<お願い>

同窓会会報は会員の一年間の動向をお知らせする役割も担っています。会員の訃報を事務局までにお知らせ下さい。また会報に追悼文をお寄せ下さい。

MEMO

同窓会事務作業日は金曜日です。

金曜日以外はFAX又は留守電にメッセージをお願いします。



同窓会ジョブネットワーク

求職(こんな仕事を探しています。)

○北九州地区 保育士職

保母職北九州市八幡西区、社保短13回生
保育士免許あり、保育所経験あり。
保育士の仕事求む。

○筑豊地区、事務職

社保短9回生
パソコン(ワード、エクセル、一太郎)できます。
事務パート希望。



求人(こんな人を探しています。)

○同窓会事務登録アルバイト

年々会員が増える中、平成9年より同窓会会員1名を含む2名のアルバイトで事務作業を行っています。事務量が増えても、常時忙しいわけではなく、会報の発送、入学・卒業事務、同窓会総会準備、名簿整理など事務作業の時期が限られています。そこで、登録制同窓会会員アルバイトの募集をいたします。あらかじめ、都合の良い日を登録いただき、事務局から事務作業のある時に連絡し、お手伝い頂きます。あなたの空き時間、県大同窓会でアルバイトしてませんか？

—臨時職・パート・アルバイト情報—

求人・求職情報を毎号掲載いたします。ちょっと働きたい、こんな仕事をしてみたい。またこんな人材が欲しい等、情報なんでも事務局までお送り下さい。在学生のアルバイト情報もありましたら、お待ちしております。

〒825-8585

田川市伊田4395

福岡県立大学内

福岡県立大学同窓会事務局

TEL・FAX 0947-42-2777



○看護学部開設

平成15年4月看護学部開設に向けて、県立看護大学(学部)設立準備委員会が設置され、文部科学省に対しての設置認可申請、キャンパス工事等様々な準備が着々と行われています。

県立大学人間社会学部の建物はそのままに、テニスコート・駐車場の奥、県立大学に隣接する鉱害復旧された約7万㎡の土地が県立大学看護学部のキャンパスとして造成され、工事が進んでいます。

以下来年4月開設の県立大学看護学部の教育理念等を福岡県立大学広報より引用し、ご紹介します。

看護学部概要

- | | |
|-----------|--|
| (1) 学部学科名 | 看護学部看護学科 |
| (2) 学生定員 | 100名 |
| (3) 学位の授与 | 看護学士 |
| (4) 資格 | 国家試験受験資格
看護師・保健師
助産婦
養護教諭1種免許
養護教諭2種免許 |
| (5) 開設時期 | 平成15年度 |

看護学部の教育理念等

まだ設置認可申請中という段階ですが、教育理念等について述べておきたいと思います。

(1) 教育理念につきましては、

幅広い教養と豊かな人間性を備え、看護の専門職としての知識・技術・態度を通じ、人々の健康と福祉に貢献できる人材を育成する、こととしたいと考えております。

(2) 教育目標につきましては、

- ① 人間に対する深い理解、共感、高い倫理観に培われた豊かな人間性を養う。
- ② 科学的根拠に基づく実践的・研究的な問題解決能力を育成する。
- ③ 自主的な学習態度や創造的思考能力とリーダーシップを発揮できる基礎を養う。
- ④ 健康現象を生活背景や文化、社会、環境等との関わりでとらえる能力を育成する。
- ⑤ 保健・医療・福祉の専門職等様々な立場の人々と連携できる能力を育成する。
- ⑥ 国際的視野を持って看護をとらえ活動できる能

力を育成する。

以上を掲げたいと考えております。

(3) 教育課程の編成方針につきましては、

- ① 経験から学ぶ能力の育成
- ② 主体からの育成
- ③ 講義－演習－実習の有機的連関
- ④ 早期実習の導入
- ⑤ 多用な学習スタイルの提供
- ⑥ 国際的な視野の育成
- ⑦ 人間社会学部との連携
- ⑧ 成人教育学部としての看護学教育の実践

以上を掲げたいと考えております。より具体的には、学生が自らの学習体験を素材として、その経験を看護の視点からより知的に意味づけすることができる能力を育成すること、学習スタイルに専門ゼミ、チュートリアル学習方式等を取り入れること、理論から実践へという一方向型でなく実習・演習・講義の混合型とすること、1年次前期より臨床実習を行いリアルな看護にふれることによって看護を学ぶことへのモチベーションを高めること、合同科目の設定など人間社会学部との交流を図ることなどであり、カリキュラムには工夫をこらしていきたい。

※福岡県立大学広報10号(1999年5月刊)「福岡県立大学に看護学部を開設」福岡県私学振興局看護学部開設準備室長武田章氏の一文並びに福岡県立大学広報16号(2002年5月刊)「看護学部の教育理念等について」総務部私学学事振興局看護学部開設準備室長八谷正範氏の一文より引用しました。

○公開講座について

福岡県立大学では、広く地域に開かれた大学として、地域住民の生涯学習に資することを目的に、「生涯学習」、「地域振興」等をテーマの中心に据え、種々の公開講座を企画、実施しています。大学における“情報発信の場”の一つとしての公開講座は、地域住民に学習の機会を提供するだけでなく、大学をよく知ってもらい、また交流の輪が広がるよい機会でもあります。是非、ご参加ください。

「21世紀：忙しいから読むのは古典」

日時：平成14年9月21日(土)～平成14年11月2日(土)
場所：福岡県立大学

福岡県立大学公開講座では、本年度も新たな講座を用意しました。題して、「21世紀：忙しいから読むのは古典」です。これは、<大競争時代>といわれる現代、ややもすれば見失いがちになる自分をしっかりと見つめ直したい思いから提案しました。

分野は、哲学・言語学・文学・経済学・社会学・

教育学・精神医学の7分野です。各分野の古典的著作一冊を選定し、それが古典的著作である理由をわかりやすく説明します。

日時・講義主題・講師について

9月21日(土)

哲学：デカルト『方法序説』を読む
福岡県立大学 助教授 神谷 英二

9月28日(土)

教育学：ルソー『エミール』を読む
福岡県立大学 助教授 藤澤 健一

10月 5日(土)

言語学：E. サビア『言語：ことばの研究序説』を読む
福岡県立大学 教授 林 勲

10月12日(土)

文学：朝鮮古典小説『春香伝』を読む
福岡県立大学 教授 西岡 健治

10月19日(土)

社会学：ジンメル『多数決についての補説』を読む
福岡県立大学 教授 文屋 俊子

10月26日(土)

経済学：A. スミス『国富論』を読む
福岡県立大学 教授 平野 泰朗

11月 2日(土)

精神医学：フロイト『精神分析入門(正統)』に学ぶ
福岡県立大学 教授 奥村 幸夫

【申込方法等】

- ・募集定員： 100名程度
- ・講座日程： 平成14年9月21日(土)
～平成14年11月2日(土)
全7回 14時～16時
ただし、開・閉講式の日は20分延長。
- ・講座場所： 福岡県立大学
[3号館3212講義室]

〒825-8585 田川市伊田4395

- ・受講料： 無料。但し、テキスト代として1,000円(全7回分、受講初日納入)
- ・申し込み方法：

- ① 往復はがきを使用し、往信欄に住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号・公開講座「21世紀：忙しいから読むのは古典」を受講希望と記入し、返信用はがきの宛名欄にあなたの住所・氏名・郵便番号を明記のうえ、お申し込みください。



- ② 受講者には、受講票(返信はがきを使用)を発行します。

- ③ 先着順に受け付け、定員を超え受講できない人には、その旨通知します。

・申込先(問い合わせ先)：

〒825-8585 田川市伊田4395

福岡県立大学 教務課

TEL(0947)42-2118(内線224)

・申し込み締切： 平成14年9月13日(金)

「教育危機とこどもの育つ環境づくり」

日時：平成14年10月～11月実施予定

場所：八女市社会福祉会館

※詳細についてのお問い合わせは県立大学：教務課まで(TEL0947-42-2118)

※公開講座等の情報は県立大学ホームページでもご紹介しています。<http://www.fukuoka-pu.ac.jp/>

大学教員動向

平成13年度からの先生方の簡単な動向についてお知らせいたします。

<退職・転学された先生>※かっこ内は在職期間です。

保田井 進 教授並びに学長(H4.4.1～H14.3.31)

ジョン・スコット 教授(H4.4.1～H14.3.31)

松尾 直子 助手(H11.10.1～H14.3.31)

村島 さい子 助教授(H13.4.1～H14.3.31) 看護学部開設準備室

<新しく着任された先生>※かっこ内は着任日です。

小田 美季 助教授(H14.4.1)

ナイジェル・ストット 助教授(H14.4.1)

石原 一成 助手(H14.4.1)

訃報となりますが、

昭和42年4月1日から昭和52年3月31日まで福岡県社会保育短期大学教授を勤められた、磯辺実先生が2001年7月16日享年86歳で死去されました。ご冥福をお祈りいたします。

昭和48年11月10日から昭和52年11月9日まで福岡県社会保育短期大学学長を勤められた、近藤草次先生が2002年2月24日享年92歳で死去されました。ご冥福をお祈りいたします。

平成4年4月1日から平成14.3.31まで福岡県立大学教授並びに平成10年4月1日より学長を勤められた、保田井 進先生が2002年4月7日死去されました。ご冥福をお祈りいたします。

※先生方への追悼文を本会報に掲載しています。ご一読下さい。

県大生の就職状況

平成13年度卒業生の就職状況は、4月22日現在、就職希望者119名のうち、就職者100名、(就職率84%)で、前年同期に比べると0.6ポイント微増している。

就職先としては民間企業・病院・社会福祉施設・公務員・その他となっている。(県立大学学生課調べ)

平成13年度卒業生就職状況一覧表

	卒業生	就職希望者	民間企業	病院	社会福祉施設	公務員	大学院	その他	専門学校等
社会学科	49	36	28	0	2	1	1	6	4
社会福祉学科	57	51	6	11	24	3	0	1	3
人間形成学科	52	32	9	3	6	7	7	1	10
計	158	119	43	14	32	11	8	8	17

在学生・卒業生への求人情報提供につきましては、同窓会活動として取り組んでいます。職場や関係機関での求人情報がありましたら、県大学生課まで、是非ご連絡ください。

TEL 0947-42-2118 (福岡県立大学 学生課)

サークル紹介

○茶道部

県立大学茶道部 吉本

私達茶道部は現在、1年生2名、2年生5名、3年生1名、4年生6名の計14名で活動しており、週に1回、お茶の先生に指導に来ていただいています。お茶を点てるときの1つひとつの作法には意味があり、その意味を知り、自分のものにしていくことがとても楽しく感じられます。うちの部は、大学に入ってから初めてお茶を始めた人がほとんどですが、1年も経てばみな作法が様になってきて、普段のお稽古の成果を入学式、秋興祭のお茶席で発揮し、皆さんに見ていただいています。

また昨年からは、お茶のほかに着物の着付けのお稽古も始め、1、2ヶ月に1回着付けの練習をしています。



最初は浴衣を着る練習から始め、今はそれぞれ母親や祖母の着物を借りてきて、「一人で美しく着る」ことを目標に特訓中です。日常のなかで着物を着る機会がめったにないので、とてもよい経験です。茶道部にとって一年で最も大きなイベントである秋の

秋興祭では、女性部員は全員で着物を着てお茶をふるまいます。来年は新校舎の建設とともに新しいお茶室も設けていただけるため、自分たちでいろいろと資料を探しお茶室の構想を考えています。毎年11月の秋興祭ではお茶席を設けているので、ぜひ1度お茶を飲みに入れてみてください。



田川市
子育て支援センター

今回は、子育て支援センターについて伺ってみました。お答え下さったのは、田川市子育て支援センター指導員 社保短11期生の矢野律子さんです。

Q: 子育て支援センターとは?

A: 子どもを取り巻く環境は、「核家族化」「少子化」の影響に伴い育児の知識や技術が親から子どもへと受け継がれにくくなり、また地域での子育て助け合いの機能も希薄になってきています。そのため孤立化した子育てを余儀なくされ、悩みや不安、また育児に対する負担を抱えている家庭が多いのです。そうした状況の中で、保育所の育児知識や技を地域に還元して子育て家庭の支援を推進する機関です。

Q：田川市子育て支援センターはどんな事業を行っていますか？

A：4つの事業を柱に運営しています。

- ① 育児不安などについての相談指導
 - ・ 電話相談、来所相談を受ける。
 - ・ ケースにより関連機関と連携をとり訪問相談等行ったり、関連機関に紹介する。
- ② 子育てサークルなどの育成、支援
 - ・ 月、水、金の3日間支援センター室を開館し、親子サロンとして場の提供したり、週に1回親子遊びを計画し、みんなで遊ぶ楽しい時間を共有させる。
 - ・ 自主子育てサークルの出張支援を行い遊びの提供をする。
 - ・ 自主子育てネットワーク「たんたん」と連携を図り行事や様々な運営の支援を行う。
- ③ 地域の情報提供
 - ・ 地域の保育資源や保育サービスに関する適切な情報を提供し、必要に応じ紹介する。
- ④ 特別保育事業の積極的推進

* その他、保育所行事に一般参加し保育所との交流を図る。

* 子育てセミナーを実施し一緒に学びあう。



Q：田川市子育て支援センターにはどんな子どもや保護者の方がきますか？

A：対象は0歳～6歳の小学校入学前の乳幼児をもつ家庭です。母親をはじめ、父親、祖父母との来所があります。

Q：子育て支援センターにはどのような職種のスタッフがいますか？

A：実動は指導者、担当者の2名体制です。(保育士) 田川市中央保育所所長兼務、保育所看護婦また、保健センターとの連携の中で、保健婦、助産婦などのスタッフもかかわっています。

Q：子育て支援センターのスタッフになるにはどのような資格が必要ですか？

A：児童の育児、保育に関する相談指導等について相当の知識及び経験を有する者であって、各種福祉施策についても知識を有している保育士等であることとされています。

あれこれトピック

障害者のための新たな福祉サービス「支援費制度」が始まります。この支援制度について社会保育短期大学9期生白水智子さんから情報提供頂きました。

平成12年6月に「社会福祉の増進のための社会福祉事業法等の一部を改正する等の法律」が制定され、ノーマライゼーションの理念の下、障害者の自己決定の尊重と利用者の立場に立ったサービスを提供するために「支援費制度」が設けられました。

支援費制度とは、障害者自身がサービスを選択し、事業者（施設）と直接契約を行い、サービスを利用できるようにするもので、平成15年4月から障害者福祉サービスのうち、在宅サービスでは、ホームヘルプ、デイサービス、短期入所、グループホーム、施設サービスでは、更生施設、身体障害者療護施設、授産施設、知的障害者の通勤寮が支援費制度に移行します。

支援費制度の基本的な流れは、下記の通りです。

(1) 利用（希望）者が、市町村に対して支援費支給の申請を行う。

(2) 市町村は、①障害者の障害の種類及び程度 ②介護者の状況 ③他のサービスの利用状況等を総合的に判定し、支援費の支給額を決定する。

(3) 障害者は、指定を受けた事業者（施設）と契約を結び、サービスを利用する。

(4) 本人及び扶養義務者は、負担能力に応じた利用者負担額を事業者（施設）に支払う。

(5) 市町村は、利用にかかるサービスの全体額から利用者負担額を控除した額を支援費として事業者（施設）に支払う。

※福祉分野・保育分野・心理学分野・社会学分野それぞれの分野での現在の動向をこのコーナーでお知らせしたいと思います。

あなたの専門分野でのトピックを事務局までご一報下さい。



同窓生の声

<雑感>

養成所7期生 村上 幸代

五月あさり貝の美味しくなる頃、懐かしく思い出される事が有ります。昭和35年ころの百道浜はまさに、白砂青松で散歩にも、海遊びにもとてもよいところでした。又、潮干狩りもさかんで、松美寮の夕食にみんなでバケツをもって出かけ、たくさんのあさりの味噌汁の実に舌づつみをうったものです。さらに、夏になると、松風園の池で、ウシガエルが、夜あの独特な声でなくとき気味悪さを感じましたが、それも懐かしい思い出です。そんな風に自然がいっぱいでしたが、最近訪れた海岸はまさに浦島太郎の心境で、あの頃を想像するのも難しくくらいです。



昨年箱根で行ってくれた、同窓会。夜遅くまで、尽きることのない話題はいつまでも変わることのない友人の暖かさに感激しました。富士に住む私が郷愁にひたるとき、富士山は頑張れとエールを送ってくれています。登りに来て下さい！

<還暦をすぎて>

養成所9期生 真野(石橋) 征子

保母養成所9期生の私共は、昨年還暦を迎えました。定年など、社会的区切りをつけられた方も多いと思います。私自身は、企業内託児所(NTT)の保母として7年間働いただけで、転勤族の夫と共に、各地を転々の生活の中で、沢山の出会いに恵まれました。中でも子育て最中に、偶然地域の公民館で、ルソーの「エミール」の講座に出会えたことは幸せでした。幼児教育のバイブルと言われる本を、深く学ぶチャンスを得たことは、私の子育てや生き方の指標になったような気がします。夫が定年になり、落ち着くと「はて？私になが有るのだろう。」と焦りを感じていた矢先、親の老いによるトラブルが次々に発生、自然と老人問題の模索を始め、ヘルパーの資格を取る等、還暦を過ぎた自分の老い方も含め

てこの分野に、取り組み始めたところです。

<25年ぶりの再会>

養成所13期生 大山 佳予子

河合さんと千賀ちゃんが笑顔で駅の階段を登ってきました。挨拶が「ごめんね、クマちゃんがいなかったのコーヒー飲んでたの。」駅の出口を間違えたのです。親切な駅員さんのお陰で無事再会することができました。3人で大笑い、こんな私達だから保養時代の二年間、浦川アパートで過ごせたのでしょうか。千賀ちゃんとは昨年再会したのですが、河合さんとは25年ぶり(?)お互い少し(?)ふっくらした以外は変わっていません(若さも・・・?)すぐに学生時代に・・・夏はうちわ、冬は練炭火鉢と河合さんの布団をコタツ代わりに、貧乏学生の部屋なのに泥棒さんの来訪、又寮生を交えて夜遅くまでこっくりさん・・・。思い出話は尽きません。次の



日、鶴見岳に登り、別府、大分の街を眺めながら、山口、奈良在住の緒方さん、さっちゃんとも一緒に温泉に泊まりおしゃべりしたいねという事で今度は全員で会う事を約束してお別れしました。

<私、“おばあちゃん”>

養成所14期生 轟 栄子

昭和42年に養成所を卒業し、早35年の年月が経ってしまいました。早いものです。久しくペンを取る事もなく、振り返れば、平凡に平和に時の流れが過ぎていった今、3人の孫たちから、“おばあちゃん”と呼ばれる事の幸せと、心地良さを感じております。同期の皆様は社会の第一線でご活躍の事と思えます。

私は皆様とは、少々違い、学生時代にいろいろ勉強しました事を身をもって、子や孫に接している現状で、つつい母親+保育者としての姿があるのかな～と感じる時がございます。最近の新聞、テレビ等、見聞きしておりますと、本当の親でありながら、我が子を手にかける等、想像出来ないことばかりです。悲しい事ですが、人間のすることだろうかとただただ驚くと同時に、心淋しくなります。子供たち

の何にも勝るあの笑顔、大人を安心して頼ってくるその姿に接する時、最高の幸せを感じますのに！

親の育ち方、社会の変化等、問題は色々考えられるでしょうけど、可愛い盛りの子供を正視出来ない親の愛のなさに腹が立ちます。私“おばあちゃん”としては、子供や孫には多くの経験をして欲しいと思いますし、幼稚園に上がるまでは、親子でしっかり遊び、愛をいっぱい注ぎ、野の花の美しさ感激し、小さな虫までもいたわり、土の感触を味わい・・・と欲張りな考えを持っておりましたが、孫達も小さな虫博士になったように、いろいろ話して聞かせてくれるようになりました。うれしい事です。娘達の小さなマイホームの庭を少し削って小さな畑を耕し、季節の野菜がいろいろ植えられ、青虫、てんとう虫、かめ虫、ミミズ等自然のままに育ち、孫達の歓声が聞こえてくる様です。35年の間には、大切なお友達が亡くなったり種々の苦労はありましたが、時の流れにいやされながら現在に至っております。今後は、自分の時間を大切に有効に使い、元気に楽しく過ごしていきたいものです。皆様もどうぞお元気で、お会い出来る日を楽しみにしております。役員の皆様、いつもご苦労様です。つたない文でお恥ずかしいのですが、現状を書き留めました。職場（社会）から離れていますと、皆様の元気をもらえそうで会報を楽しみにしています。今後とも皆様のご活躍を期待しております。ありがとうございました。

<おもいつくまま・・・>

社保短6期生 進 久美子
前略

同窓会会報10号に載せて頂けるとか・・・嬉しいお便りを頂き有り難うございます。編集委員会の方々には、大変な作業でしょうが、出来上がりを楽しみにしておりますのでどうぞよろしくお願い致します。

とはいえ、何をどう書いたら良いのか少々戸惑っております。まとまりの悪いものになるかも知れませんが、思いつくままに近況報告させていただきます。

西暦2000年で50歳の私は、今、おまけの人生（子供達3人が、口を揃えてそういいます。）を生きております。今年4月に再就職し、私立保育園の保育士として、日々子供達と向かい合うことになりました。園庭は、直ぐに草茫々となり、草刈りが大変！雉の夫婦がフェンスの向かい側の田圃で遊ぶこ

ともあるという保育園です。いまだに、社会保育短大で取得した資格が役立ち、北九州市や大阪府富田林市に就職した時の経歴がものをいいます。子供3人を連れて離婚、建設会社の事務もしました。今思えば、総てが役立っているような気がします。

長男は、26歳で退職し、家の残りのローンを支払い、現在理学療法士を目指して専門学校に通っています。長女は県立大学を卒業し郵便局勤め、子ども達は全員博多です。ハングリーな経験も自立に向かうには、良い経験となるようです。「進先生、パーカ。」と軽い自閉症の大ちゃんに言われながら、ニコニコしている私です。

体調をくずして退職し、職安に通っているときにパソコン教室を受講してみました。少しなら、パソコンで遊べそうです。



※ 同封の写真は娘（県立大卒4期生）と一緒にヨーロッパ旅行に行き、ドイツのハイデルベルグ城で写したものです。

<充実の2年間>

社保短17期生 森永 真寿美

初めて、私が田川の地に行き、社保短“女子寮”たる所に入ったのは、もう20年程前になるでしょうか！思い起こせば、ボロボロのネズミがウロウロしていそうな4人部屋で、歩くと床が“キシキシ”いていたのを覚えています。各県の方言が飛び交いながら、ずいぶんおしゃべりに夜を明かしました。大学では、つくしんぼサークル、湯山荘ボランティアサークルによく足を運び、一緒に遊んだ子ども達を今でもなつかしく思い出します。

私にとって、とても充実した2年間でした。2年間ではもったいなかったなァーと、今思います。四年制大学に変わり



今の県大生は幸せですね。いつの日か又田川の地を訪れる日を楽しみに、今は私の職場である文政保育園を愛し、精一杯子ども達を可愛がっていきたくと思っています。県大生の活躍を心からお祈り致します。

<福祉職13年>

社保短19期生 吉田 千重子

社保短を卒業してから福祉の職場へ就いて早13年、昨年3月末に退職し、今は1才の息子と夫と共に楽しく生活しています。思えば、卒業後就職先がなく1年浪人することにした私は、受けれる公務員試験を全て受け、第一志望に破れ、公務員の続きのようなか弱い気持ちで市の社会福祉事業団に入りました。ところが、知的障害者施設へ指導員として配属され、彼らと関わることの難しさに悩み、心身共に未熟な自分を思い知りました。とりあえず3ヶ月、とりあえず半年、1年、そして5年が経ち、転勤により事務員として7年勤めた後、再度指導員として最後の配属先へ移りました。その間、たくさんの利用者の方や職員の方に出会い、支えられて、いつしかこの福祉の分野と一生関わっていきたくと思う私に変わりました。もし、明日私が障害者となったとしても、仕事をして、結婚をして家族と暮らして、



そんな誰もが普通の暮らしが送れるような社会であることを願ってやみません。

子育てが一段落したら、また福祉の現場で多くの人と関わる自分を思いながら

日々我が息子と向き合う毎日です。

<今、愛に生きる>

社保短21期生 諸石 有美子



社保短を卒業して早13年。友と語り明かした日々を懐かしく思い出しています。只今、小学3年生になるお宝坊ちゃまと最愛の夫とその両親の5人で、毎日あつという間に楽しく過ごさせていただいています。また、卒業の際に安藤学長から「卒業証書は、花の種という発芽証明書です！」と励ましていただいたその言葉を

胸に、役場健康福祉課で生活保護の担当を拝命しております。こんな月日の中で私の社会奉仕活動の1つに環境問題啓発系「地球と子どもの未来を守るネットワーク」がありまして、エコナプキンを始め、使い捨てる時に心まで捨てているのではないかとと思う大量生産、大量消費社会にこれでいいの?!と一石を投じています。すべての根本原因は「自分さえ良ければ他はどうなってもいい」という考え方にあります。「忙しい」とは「心を亡くす」と書きますが、私なりに「心をこめることをわすれること」だと解釈しており、おにぎりにぎる時もお料理する時も、洗濯物を干す時も、決裁文書を書く時も愛が増しますようにと祈りをこめるように心がけています。



まだまだ修行中の身ですが、みなさまの毎日が麗しい愛の輝きとともにありますようにお祈りしています。ちょっとのぞいてみようかなと思われた方お待ちしております。 拝

<宮城女川町より>

県大1期生 川村 明美

みなさん、いかがお過ごしでしょうか。田川の町は今、どうなっているのでしょうか。私は現在、東北は宮城県に住んでいます。そして、もう4年になります。結婚して子どもも2人、「松吉3才」と「侑我1才」です。上の子に関しては、4月から保育所に通っています。私も、「もうすっかりこちらの生活に慣れて」といいたいところです。でもなかなかそうはいきません。実家九州大分はあまりに遠すぎます。寂しくなったりなんて、ほぼ毎日です。それでもここでごんばれるのは共に大学時代を過ごした仲間（私だけの思い込み？）が九州までいなくても全国各地にいると思えるからこそ。そう思わせてくれる友をつくることができた県立大には、今でもとても感謝しています。

これを見てくれた方。ぜひ宮城県女川町（原子力発電所のある所）に来たら「カワムラ釣具店」にぜひ寄ってください。私、夫そして息子共々その日を首を長くして待っています。

